

千葉市長 熊谷俊人 様

令和2年8月14日

未来民主ちば

幹事長 麻生 紀雄

副幹事長 白鳥 誠

副幹事長 川合 隆史

幹事 亀井 琢磨

会計幹事 小坂さとみ

三瓶 輝枝

段木 和彦

田畑 直子

岡田 慎

岩井 美春

秋山 陽

新型コロナウイルス感染症拡大防止及び市民生活の安全と経済対策に関する要望

新型コロナウイルス感染症は、世界中で感染拡大し、8月10日現在1982万人の感染者数となっている。国内の感染者数も緊急事態宣言後も拡大傾向にあり、8月8日には1日の感染者数最大1601人となり、既に第2波に突入していると言える状況にある。

本市においても、新型コロナウイルス感染症対策として国からの第2次補正予算により交付されることとなった約50億円の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、感染拡大防止と持続可能な医療体制の確保、市民生活の安全と経済の活性化等効果的な支援に取り組まれたことは一定の評価しておりますが、第2波第3波に備え、下記事項におかれましても、更なる支援・施策を講ずることを求めます。

1 PCR検査の拡充と医療体制支援へ

- ・第2波、第3波に備え、PCR検査体制を更に拡充し、市民が求めればPCR検査を受けることができる体制を構築すること。
- ・感染疑いのための一次診断を行う専門外来（コロナ外来等）を各区に設置すること。
- ・医療体制等の安定した経営に向けた支援を行うこと。
- ・医療・福祉・介護・教育従事者へ無料PCR検査等施策を講ずること。

2 活動再開に向けた市民や事業への継続的な支援へ

- ・感染拡大の影響を受けたNPO法人、自治会等に対し、事業を継続するための支援を行うこと。
- ・中小企業者へ市独自の長期的な支援に向けての施策を講ずるとともに、地域経済の好循環に向け消費の活性化を推進すること。

3 小中学校の教育再開に当たっての課題への対応へ

- ・遅れている教育課程への対応や、更に第2波第3波時に分散登校等となった場合に備え、登下校時の防犯対策や安全対策などの対応を講ずること。
- ・部活動や修学旅行等は、児童生徒の人格形成に向けた貴重な体験であることから、児童生徒に対し十分に配慮した対応策を講ずること。